

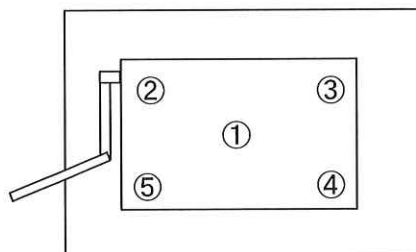
動作確認チェックシート

検査日	2025年 12月 15日	(機械の仕様・規格を記入する。)			
商品名	超音波洗浄槽	電源電圧	単相200V, 12A	発振器	GP1204
型式	不明(発振器はGP1204)	周波数	50/60Hz	槽外(W×D×H)	670×760×805mm
メーカー名	不明(発振器はチヨダエレクトリック(株))	高周波	35kHz	槽内(W×D×H)	600×500×500mm
機械Ser.No	不明(発振器は14040089)	出力	1200W	振動子(W×D×H)	365×310×90mm
製造年月	不明	振動子	投入み型	発振器(W×D×H)	320×420×150mm

チェック項目	主な確認内容	チェック(○×)
1 外観	筐体・キャスター・継手・スイッチ等に著しいキズ・破損・動作不良はないか。	○
2 起動動作	POWER ON時に異常(異音・異臭・漏電・暴走・アラーム表示等)はないか。	○
3 SW設定	SWの機能は正常か。	○
4 保管・出荷準備	水抜き・ビス締め・清掃・入庫元に関するシール等を取り除く。	○
5 確認シール	動作確認済シールを貼る	○
6 データバックアップ	PLC(未対象) TP(未対象) BT交換(未対象)	

備考(動作確認内容・不具合内容等) 機器の仕様・規格を満たす事を確認する。

- 発振器は常時スイープ方式で、スイープ幅4段階(0.3, 0.5, 1.0, 2.0kHz)、スイープ速度3段階(100, 300, 500Hz)の組み合わせで使用。スイープ幅2.0kHzでは出力Max 66%、それ以外は100%。『PULSE』スイッチで6秒発振、2秒停止を繰り返す。
- 水深250mm、振動子表面からは約160mmの状態では発振を確認。出力設定100%及びスイープ幅2.0kHz時の66%発振では、出力のばらつきが大きくなる。(100%時: 1076~1182W、66%時: 784~802W) Maxの8割程度での使用が妥当。
- 音圧計にて発振時の音圧測定を実施。特に問題なし



測定値は相対値

出力設定 SV(%)	出力 PV(W)	音圧(mV)				
		①	②	③	④	⑤
10	120	8	8	8	8	8
50	600	12	12	12	12	11
100	1182	16	16	16	16	16

スイープ機能はSW:0.3kHz, SS: 100Hz固定で測定した。

センサ(石英棒)を浸水させ、振動子表面から約110mmの位置を測定。

測定器: ホンダ製 HUS-5



取扱説明書(無)

修理・改造履歴

年月日	修理・改造記録	作業者

File Maker入力

(備考欄コメント)

[責任者]

動作(OK) 作業工数[3.5H]

検査担当者[野沢]

早川